

すべての世代が笑顔で暮らせる賃金水準をつくろう！

全国いっせい生計費調査運動

公務の給与において、考慮することとされている「生計費」は、労働者が健康に働き続け、その家族も含めた生活を維持するために必要な費用です。

しかし、人事院や地方人事院の勧告する給与は、「生計費」を十分に加味しているとはいえません。

こうしたもとで、自治労連は、自治体・自治体関連職場で働く労働者の「生計費原則」に基づく「あるべき賃金水準」を明らかにし、今後の賃金闘争における賃上げ要求に向けた確信を生み出すべく、初の全国いっせい実施の生計費調査となる「すべての世代が笑顔で暮らせる賃金水準をつくろう！ 全国いっせい生計費調査運動」（以下、「生計費調査運動」という。）に取り組み、全国のあらゆる世代の自治体・自治体関連職場で働く労働者から **6,769 部** の回答を集約しました。

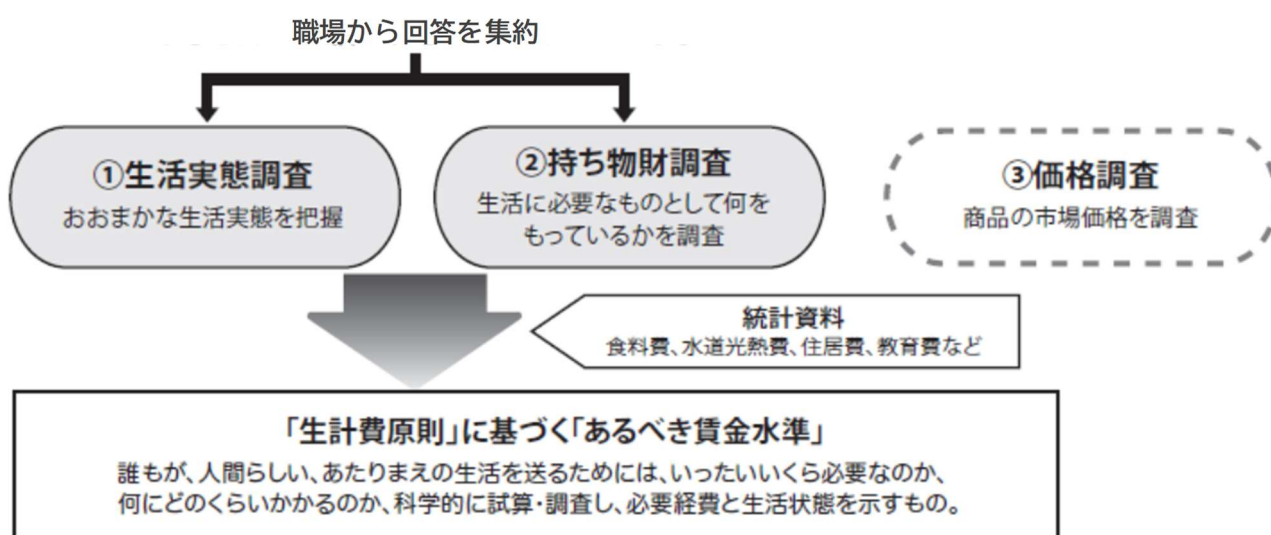
集約した回答をもとに、世代や職種などの分類ごとの分析を進めていきます。

●調査・分析方法の概要

「生計費原則」に基づく「あるべき賃金水準」を導き出す手法として、年齢や世帯構成などを設定したモデル世帯に、生活実態や所有する持ち物を積み上げるマーケット・バスケット方式（全物量積み上げ方式）を採用しています。

生活実態や所有する持ち物は、調査票の配布によって職場から回答を求める①生活実態調査と②持ち物財調査によって定め、所有する持ち物の価格はインターネットを活用した③価格調査によって定めています。

実態から乖離させずにあるべき普通の生活にかかる費用を導き出すため、①所有率7割を超える持ち物を原則「必需品」として所有させること、②持ち物の消費量を原則「下から3割」とすること、③市民・労働者の意見を採り入れる機会を設けることを分析のルールとしています。



>>調査票（PDF）

※調査票中「調査から試算へのプロセスと結果の活用」のスケジュールは変更となっています。

●20代・単身世帯の分析結果

20代・単身世帯の生計費について、集約した回答を都市部と地方部に分けて分析し、生計費の試算を行いました。

人事院が毎年公表する「標準生計費」で、1人世帯の世帯主年齢とされている22歳をモデル世帯としています。

分析結果からは、都市部・地方部、男性・女性の別に関わらず、**人間らしく生活するためには、おおそ月額29万円以上が必要**であることが明らかとなりました。これと比較して、「標準生計費」（1人世帯）はあまりにも低い水準となっています。

また、**生計費に地域間格差がほとんどない**ことも証明されました。

生計費調査運動の分析結果における生計費

性別	居住地	年齢	生計費 (月額)
男性	都市部	22歳 (単身世帯)	290,978
	地方部		286,679
女性	都市部		298,379
	地方部		290,472

【参考】国家公務員モデル給与例

俸給表	組織	役職段階	年齢	26勧告後 月額
行政職 俸給表 (一)	地方 機関	係員	18歳 (一般職試験(高卒)初任給)	209,800
			22歳 (一般職試験(大卒)初任給)	241,500
		係長	35歳	312,100
			40歳	331,700
	本府 省	係員	22歳 (総合職試験(大卒)初任給)	312,600
		係長	28歳	367,740

※国家公務員モデル給与例は、「本年の給与勧告のポイントと給与勧告の仕組み」（2026年8月 人事院）をもとに作成。

また、月額は、俸給、地域手当（地方機関：非支給、本府省：20%）、俸給の特別調整額及び本府省業務調整手当を基礎に算出。

費目別、世帯人員別標準生計費（令和8年4月）

費 目	世帯人員				
	1人	2人	3人	4人	5人
	円	円	円	円	円
食料費	29,380	52,640	65,130	77,620	90,120
住居関係費	51,480	66,690	57,520	48,340	39,170
被服・履物費	4,640	5,140	7,170	9,200	11,240
雑費Ⅰ	30,390	38,050	52,730	67,410	82,090
雑費Ⅱ	10,440	20,140	23,540	26,940	30,350
計	126,330	182,660	206,090	229,510	252,970

※令和8年人事院勧告資料より抜粋。

生計費と標準生計費との比較

		都市部	地方部	平均	都市部	地方部	平均
	標準生計費	男性	男性	男性	女性	女性	女性
食料費	29,380	50,939	49,295	50,117	46,090	44,949	45,520
対標準		1.73	1.68	1.71	1.57	1.53	1.55
住居関係費	51,480	87,724	63,127	75,426	89,428	64,419	76,924
対標準		1.70	1.23	1.47	1.74	1.25	1.49
被服・履物費	4,640	8,038	8,051	8,045	7,671	8,278	7,975
対標準		1.73	1.74	1.73	1.65	1.78	1.72
雑費Ⅰ	30,390	42,844	65,007	53,926	45,303	64,874	55,089
対標準		1.41	2.14	1.77	1.49	2.13	1.81
雑費Ⅱ	10,440	21,177	21,293	21,235	28,931	27,646	28,289
対標準		2.03	2.04	2.03	2.77	2.65	2.71
計	126,330	210,729	206,780	208,754	217,429	210,173	213,801
対標準		1.67	1.64	1.65	1.72	1.66	1.69

※この表では、標準生計費には含まれていない非消費支出と、比較対象となる費目のない予備費を生計費から除いている。

[>>全国いっせい生計費調査結果報告書（１）－若年単身世帯（22歳男性および22歳女性）－（PDF）](#)